



流動化剤・標準形 I 種

フローリック FBL-100

フローリック FBL-100 は、ベースコンクリートに添加し、長時間流動性を保持する JIS A 6204(流動化剤・標準形 I 種) に適合する化学混和剤です。

コンクリートの凝結時間を大きく遅らせることなく、優れた経時安定性を付与することが可能です。

コンクリートの品質を改善し、ハンドリングや充填性などの施工性が大幅に向上します。

用途

- 土木・建築・二次製品のコンクリートに使用。
- 単位水量の低減・長時間の運搬に対応。
- AE 減水剤および高性能 AE 減水剤を使用したコンクリートの流動性の増大と経時安定性の改善。

特長

- 従来の流動化剤と比較して、経時安定性が大幅に改善されます。
- 従来の流動化剤と比較して、コンクリートの施工性(充填性・締固め性)が大幅に向上します。
- 流動性の低下を大幅に抑制し、打重ね不良の予防に寄与します。
- フレッシュコンクリートの長時間遠距離輸送に有効です。
- ブリーディングの発生や圧縮強度の発現に悪影響を及ぼしません。
- コンクリートの耐久性に悪影響を及ぼしません。
- 添加するタイミングに応じ、適宜添加量を調整することで適正な分散性と経時安定性を付与することが可能です。

物性

主成分	外観	密度 (g/cm ³)
ポリカルボン酸系化合物	茶褐色液体	1.02 ~ 1.08

使用方法

- フローリック FBL-100 の使用量は、コンクリートの材料・配(調)合・温度・添加時期およびベースコンクリートに使用された混和剤により変化します。また、コンクリートに必要とされる流動性と経時安定性の付与に応じて、フローリック FBL-100 の使用量は変化します。
- フローリック FBL-100 の使用量は、セメント質量に対し(0.1 ~ 1.0wt%)を目安としてください。

使用上の注意

- ベースコンクリートのスランプおよび空気量を確認の上、所要量を正確に添加してください。
- フローリック FBL-100 は、ミキサー内やトラックアジテータ内のフレッシュコンクリートに添加し攪拌してください。攪拌時間はコンクリートの配(調)合により異なりますので適宜調整してください。

荷姿

- タンクローリ・18kg 缶

試験結果例

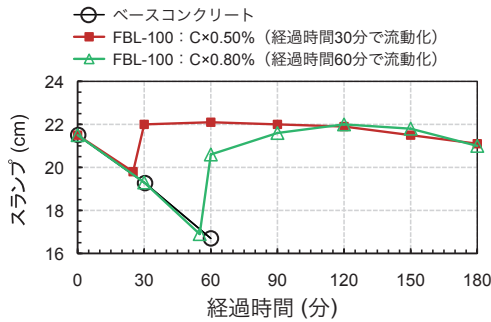


図 1. スランプの経時変化

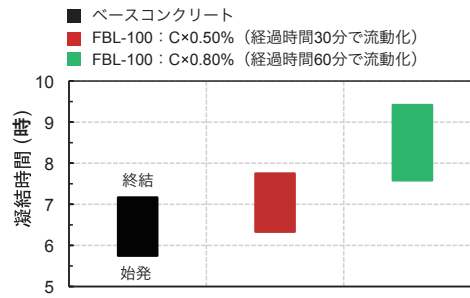


図 2. 凝結試験結果

① 使用材料：普通ポルトランドセメント三種等量混合、掛川産山砂、青梅産砕石、高性能 AE 減水剤標準形 I 種
 配(調)合：W/C=50.0%、s/a=48.0%、W=170kg/m³ 試験条件：環境温度 20℃(室内)

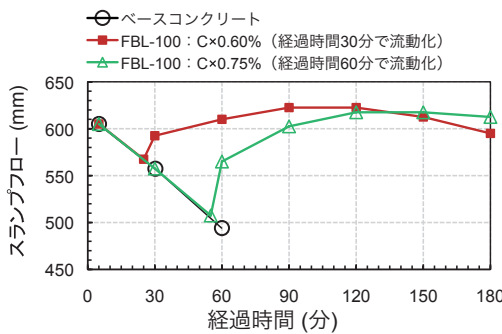


図 3. スランプフローの経時変化

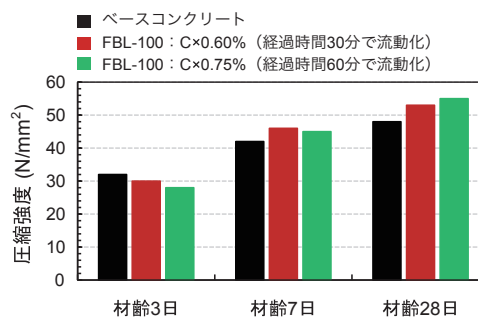


図 4. 圧縮強度試験結果

② 使用材料：普通ポルトランドセメント三種等量混合、君津産山砂、美祿産石灰砕石、高性能 AE 減水剤標準形 I 種
 配(調)合：W/C=43.8%、s/a=50.0%、W=175kg/m³ 試験条件：環境温度 20℃(室内)

取扱い上の注意

- 取扱いの際には、保護メガネ、保護手袋およびマスクなどの保護具をご着用ください。
- 目に入った場合には、清浄な水で数分間注意深く洗い、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼などで洗浄してください。
- 飲み込んだ場合は、直ちに多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診断を受けてください。
- 詳細は、当社の安全データシート(SDS)をご覧ください。



本 社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-10-1 TEL.03-5960-6911 FAX.03-5960-6915
 ホームページ：http://www.flowric.co.jp

記載データは、標準的な材料を使用して行った試験結果です。使用材料、配(調)合および環境条件が異なる場合の状態を保証するものではありません。事前の試し練り等で性能を確認することをお薦めします。